施設入所利用料金表(令和6年10月1日現在)

1. 介護保険内費用(利用者負担1割の場合)

(1)基本負担額

	基本型個室	多床室
要介護 1	788 円/日	871 円/日
要介護 2	863 円/日	947 円/日
要介護3	928 円/日	1,014 円/日
要介護 4	985 円/日	1,072 円/日
要介護 5	1,040 円/日	1,125 円/日

(2)加算内容

(2)加昇內谷		
初期加算(I)	急性期医療を担う医療機関の一般病棟への入院後 30 日以内に退院し、施設に入所した場合	60 円/日
初期加算(Ⅱ)	入所した日から起算して30日以内に限り加算	30 円/日
安全対策体制加算	施設内に安全対策部門を設置し、組織的に安全対策を	20 円/回
	実施する体制が整備されていること。	(入所時)
	入所者ごとの ADL 値、栄養状態、口腔機能、認知症の	
科学的介護推進体制加算(Ⅱ)	状況、その他の心身の状況等の基本的な情報並びに疾	60 円/月
	病、服薬の状況等情報提出を行うこと。	
	医師が入所者ごとに、施設入所時に自立支援に係る医	
h / _ / _ / _ / _ / _ / _ / _ / _	学的評価を行うとともに、定期的に専門職が共同で支	000 111 / 11
自立支援促進加算	援計画を作成。3ヵ月に1回見直しし、情報を厚生労	300 円/月
	働省に提出し活用していること	
		100 円/月
	 協力医療機関との間で情報共有しながらスムーズな	(~令和7年3月)
協力医療機関連携加算	 入退院連携を図る為の体制が構築できること	50 円/月
		(令和7年4月~)
	在宅復帰・在宅療養支援等指標項目(在宅復帰率、べ	
在宅復帰・在宅療養支援機能加算	 ッド回転率等の 10 項目)の実績が 70 ポイント以上	51 円/日
	地域に貢献する活動を行っていること	
	介護福祉士が80%以上配置されていることまたは勤	
サービス提供体制強化加算(I)	続 10 年以上介護福祉士 35%以上	22 円/日
	夜勤を行う介護職員または看護職員の数が最低基準	0.4 FF / F
夜勤職員配置加算	より1以上、上回っている	24 円/日
	第二種協力指定医療機関との間で、新興感染症発生時	
	の対応を行う体制を確保していること。協力医療機関	
高齢者施設等感染対策向上加算 (I)	等との間で新興感染症以外の感染症発生時等の対応	
	 を取り決めると共に、感染症の発生時等に協力医療機	
	関等と連携し適切に対応していること。診療報酬にお	10 円/月
	ける感染対策向上加算又は外来感染対策向上加算に	
	係る届出を行った医療機関又は地域の医師会が定期	
	的に行う院内感染対策に関する研修又は訓練に1年1	
	回以上参加していること。	
	1	

介護職員等処遇改善加算(IV)	(基本負担額+上記該当加算分)×4.4%		
	退所を目的とした施設サービス計画の策定及び診療		
入所前後訪問指導加算(I)	方針の決定を行った場合	450 円/回	
	退所を目的とした施設サービス計画の策定及び診療		
	方針の決定にあたり、生活機能の具体的な改善目標を		
入所前後訪問指導加算(Ⅱ)	定めるとともに、退所後の生活に係る支援計画を策定	480 円/回	
	した場合。		
	入所日から3カ月以内に集中的にリハビリを行った場		
短期集中リハビリテーション実施	 合。入所時及び1月に1回以上 ADL の評価を行い、情		
加算(I)	報を厚生労働省に提出し、必要に応じてリハビリテー	258 円/日	
	ション計画を見直した場合		
短期集中リハビリテーション実施	入所日から3カ月以内に集中的にリハビリを行った場		
加算(Ⅱ)	合	200 円/日	
	認知症の方に入所日から3ヵ月以内に集中的にリハビ		
371/	リテーションを行った場合		
認知症短期集中リハビリテーショ	入所者が退所後生活する居宅又は社会福祉施設等を	240 円/日	
ン実施加算(I)	訪問し、把握した生活環境を踏まえたリハビリテーシ		
	ョン計画を作成していること		
認知症短期集中リハビリテーショ	認知症の方に入所日から3ヵ月以内に集中的にリハビ	100 EL / EL	
ン実施加算(Ⅱ)	リテーションを行った場合	120 円/日	
	入所者ごとに褥瘡の発生と関連のあるリスクについ		
	て、入所時及び3カ月に1回評価を行う。		
褥瘡マネジメント加算(I)	上記の評価結果、医師・看護師・介護職員・管理栄養	3 円/月	
	士・介護支援専門員が協働して褥瘡ケア計画を作成、		
	状態についての記録・見直しを行う。		
褥瘡マネジメント加算(Ⅱ)	上記(I)に加え、施設入所時に褥瘡の発生するリスク	13 円/月	
(特/信マインメント加昇(Ⅱ)	があるとされた者について褥瘡の発生がないこと。	13 円/月	
	入所者ごとに要介護状態の軽減の見込みについて、入		
排せつ支援加算(I)	所時及び3カ月に1回評価を行い、評価結果から医	10 III / FI	
がせつ又仮加昇(1)	師・看護師・介護支援専門員等が共同して排泄支援に	10 円/月	
	係る支援計画を作成・実施していること。		
	上記(I)に加え、入所時と比較して、排尿・排便の状		
排せつ支援加算(Ⅱ)	態の少なくとも一方が改善するとともにいずれも悪	15 円/月	
がと ラス版加昇(Ⅱ)	化がない、もしくは、おむつ使用から使用なしに改善	10 1/ /1	
	していること。		
	上記(I)に加え、入所時と比較して、排尿・排便の状		
排せつ支援加算(Ⅲ)	態の少なくとも一方が改善するとともに、いずれも悪	20 円/月	
がで ラス版/研究(曲)	化もなくかつ、おむつ使用から使用なしに改善してい	70 1/)1	
	ること。		
リハビリテーションマネージメン	入所者ごとのリハビリテーション実施計画書の作成、		
ト計画書情報加算(Ⅱ)	実施、評価、見直し、改善を行うこと。	33 円/月	
· FI H H III IWARAT (#/	※(I)(II)の併算定は不可		
	月1回連続する7日を限度とし、肺炎、尿路感染症、		
所定疾患施設療養費(I)	帯状疱疹及び蜂窩織炎、慢性心不全の増悪に対する検	239 円/日	
	査、投薬、注射、処置等を行った場合		

月1回連続する10日を限度とし、肺炎、尿路感染症、			
所定疾患施設療養費(Ⅱ) 帯状疱疹及び蜂窩織炎、慢性心不全の増悪に対する		480 円/日	
	査、投薬、注射、処置等を行った場合		
	容態が急変し緊急的に処置を行った場合	518 円/日	
ターミナルケア加算	死亡日以前 31 日以上 45 日以下	72 円/日	
	医師が家族の同意 死亡日以前4日以上30日以下	160 円/日	
	を得てターミナル 死亡日以前2日又は3日	910 円/日	
	ケアを行った場合	1,900 円/日	
	入所後1カ月以内に、状況に応じて入所者の主治医に	1,000 17	
	対して処方の内容を変更する可能性があることにつ		
 かかりつけ医連携薬剤調整加算	いて説明・同意(報告書)を得ていること。	140 円/回	
(I)1	入所前の主治医と連携して薬剤を評価・調整した場合	(退所時)	
\ - / \	入所前に6種類以上の内服薬が処方されている方を対	(,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	象とする		
	(1)イの要件に適合しており、施設において薬剤を評	70 円/回	
(I) ¤	価・調整した場合	(退所時)	
トーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	(1)イ、又は口を算定しており、服薬情報等を厚生労	240 円/回	
(Π)	働省に提出し、活用している場合	(退所時)	
	上記(Ⅱ)を算定しており、入所中・と比べて、退所時	🖂 /🖂	
かかりつけ医連携薬剤調整加算	に1種類以上減薬している場合	100円/回	
	※1人につき1回を限度とし、退所時に加算	(退所時)	
	歯科医師の指示を受けた歯科衛生士の技術的助言及		
口腔衛生管理加算(I)	び指導に基づき、入所者の口腔衛生等の管理に係る計	90 円/月	
	画を作成し、月2回以上口腔ケアを行った場合		
口腔衛生管理加算(Ⅱ)	上記(I)に加え、口腔衛生等の管理に係る情報を厚生	110 0 / 0	
口腔倒生官理加昇(Ⅱ)	労働省に提出し必要な情報を活用した場合	110 円/月	
療養食加算(1食)	療養食の提供が必要な場合	6円/食	
	経口により食事を摂取される方で、嚥下困難が認めら		
	れる入所者に対して医師又は歯科医師の指示に基づ		
 経口維持加算(I)	き医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、介護支援専	400 円/月	
(E) (E) (F) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E) (E	門員その他の職種の者が共同して栄養管理する為の	100 1/)1	
	食事の観察及び会議を行い継続的な食事の摂取を進		
	める為の経口維持計画を作成している場合		
	経口維持加算(I)を算定している場合で、入所者の経		
 経口維持加算(Ⅱ)	口による継続的な食事摂取を支援する為の食事の観	100 円/月	
751 (MA) (7785F (A)	察及び会議に医師・歯科医師・歯科衛生士が加わった	100 1/ / 1	
	場合		
 経口移行加算	特に嚥下困難が認められる入所者に、経口からの栄養	28 円/日	
	を維持するための管理を実施した場合		
	医療機関から再入所する際に管理栄養士が医療機関		
 再入所時栄養連携加算	の管理栄養士と連携し栄養計画を策定した場合。(厚	200 円/回	
	生労働大臣が定める特別食を必要とする者を含む)	. */	
	(1 人につき 1 回を限度)		
試行的退所時指導加算	退所時の療養指導を行った場合	400 円/日	

	厚生労働大臣が定める特別食を必要とする入所者又	
退所時栄養情報連携加算	は低栄養状態にあると医師が判断した入所者に対し、	70 円/回
<i>运</i> // 时末後旧報達/// / / / / / / / / / / / / / / / / /	管理栄養士が退所先の医療機関に対して情報を提供	
	した場合。(1月に1回を限度)	
	退所後に利用を希望する居宅介護支援事業所と連携	
入退所前連携加算(I)	し、入所者の同意を得て、退所後の居宅サービス等の	600 円/回
	利用方針を定めた場合(入所時)	
	入所者が退所し、居宅サービス等を利用する場合、入	
	所者の退所に先立ち利用を希望する居宅介護支援事	
入退所前連携加算(Ⅱ)	業者に対しての同意を得て、診療状況を示す文書を添 400円	
	えて居宅サービス等に必要な情報を提供するととも	
	に連携して退所後の調整を行った場合(退所時)	
、11.55中华和坦伊加第 / I)	居宅に退所した場合かつ、入所者の同意を得て、主治	500 III /I I I
退所時情報提供加算(I)	医に情報を提供した場合(1人につき1回限り)	500 円/回
	医療機関へ退所した場合かつ、入所者の同意を得て、	
退所時情報提供加算(Ⅱ)	退所後の医療機関に対し情報を提供した場合(1 人に 250円)	
	つき1回限り)	
外泊時費用	外泊時基本料金の換わりに算定される費用	
/ 「TIPN 貝/II	プロロッタング 42 プロチルではいる 貝川	
外泊時費用(在宅サービスを利用	外泊時に介護保健施設から提供される在宅サービス	
する場合)	を利用した場合	

2. 介護保険外費用

(1)居住費・食費

項目	利用者負担区分	従来型個室	多床室
	第1段階	550 円	0 円
	第2段階	550 円	430 円
居住費	第3段階①	1,370円	430 円
	第 3 段階②	1,370円	430 円
	第4段階	1,728円	437 円
第1段階		300 円/日	
	第2段階	390 円/日	
食費	第3段階①	650 P	9/日
食費	第 3 段階②	1,360円/日	
	笠 / FLIKE	1,950 円/日	
	第4段階	(朝食 600 円・昼食 600 円・夕食 650 円・おやつ 100 円)	

(2) その他

日常生活費・教養娯楽費	250 円/日
家電持込料	52 円/日
家族介護室使用料	1,080円/日
口腔衛生用品	実費
理・美容代	実費
検査料他(医療保険適用分)	実費